

## 島根大学医学部附属病院で診察を受けられる患者さんへ

当院では、以下の研究を実施しております。

本研究の対象者に該当する可能性のある方で、ご自身の情報を研究目的に利用されることを希望されない場合は、下記の問い合わせ先にご連絡ください。

ただし、すでに解析を終了している場合には研究データからあなたの情報を削除できない場合がありますので、ご了承ください。

研究題目	出雲市における非 ST 上昇心筋梗塞の長期予後に関する高感度トロポニンの意義についての検討
研究期間	2022年3月～ 2023年1月31日
対象患者	島根県立中央病院もしくは、島根大学医学部附属病院で急性心筋梗塞と診断された患者さん
対象期間	2009年8月1日 ～ 2018年7月31日
研究機関の名称	島根県立中央病院、島根大学医学部附属病院
研究組織	研究代表機関名：島根県立中央病院、研究責任者：循環器科 小田強（主担当者：循環器科 石口博智） 研究参加施設：島根大学医学部附属病院、研究責任者：循環器内科 安田優
実施診療科	循環器内科
研究責任者	安田優
意義・目的	我々は以前、出雲市において過去10年間のST上昇心筋梗塞、非ST上昇急性心筋梗塞の発生率を検討し、増加傾向にあることを報告しました。この増加に貢献する因子として、高感度トロポニン検査の普及は挙げられ、従来なら不安定狭心症と診断されていた症例が、非ST上昇心筋梗塞と診断されるようになったことが挙げられました。ただ、この高感度トロポニン検査の普及が長期予後に与える影響について検討された報告は少なく、不明な部分が多いです。 そこで本研究では、過去の出雲市で発生した非ST上昇心筋梗塞の長期予後について、高感度トロポニンを診断に用いた症例と、従来のトロポニンで診断された症例について比較することを目的とします。
研究の方法 (試料・情報の利用 方法・他施設への提供 方法を含む)	電子カルテ等を利用して、「利用・提供を受ける試料・情報の項目」に示す項目を抽出し、ST上昇心筋梗塞、非ST上昇心筋梗塞、不安定狭心症の3群に分け、各群の症例について、退院日から2年以内の主要イベント（急性冠症候群の再発、もしくは脳卒中の出現、心臓不全での入院、もしくは全死亡）合併の有無を評価します。また、各群において、診断に用いられた検査に応じて、高感度トロポニン検査群、従来のトロポニン検査群に2分し、主要イベントの累積発生率を比較し、発症のリスク因子を特定します。
利用・提供を受ける 情報の項目	年齢、性別、急性冠症候群の種類、CK 上昇の有無、喫煙歴の有無、発症から受診までの時間、BMI、検査値（退院前の、推定糸球体ろ過量、BNP、CRP、LDL）、合併疾患の有無（高血圧、糖尿病、脳梗塞の既往、心筋梗塞の既往、PCIの既往、CABGの既往）、退院時服薬の有無（抗血小板剤、抗凝固薬、ACEI/ARB、β遮断薬、Ca拮抗薬、ループ利尿剤、アルドステロン拮抗剤、スタチンなど抗脂質製剤、抗糖尿病薬、インスリン）、退院日より2年間の主要イベント（急性冠症候群の再発、もしくは脳卒中の出現、心臓不全での入院、もしくは全死亡）合併の有無等
試料・情報の 提供の有無	情報の他施設への提供 <input checked="" type="checkbox"/> あり・なし (ありの場合、海外の施設への提供 <input type="checkbox"/> あり・ <input checked="" type="checkbox"/> なし)

	各機関のデータは、匿名化したものを統括して研究責任者が管理する。各機関のデータは電子媒体に保存したもの直接受け取り、受け渡しを行う。
個人情報の保護	当院における個人情報保護の基本方針に準じて行います。
結果の公表	投稿論文として公表予定
備考	

\*\*\*\*\* お問い合わせ先 \*\*\*\*\*  
島根大学医学部附属病院  
循環器内科 安田 優  
電話：0853 - 20 - 2201  
\*\*\*\*\*